

NIEワークシート
／小学校中学年～中学校
／社会、総合



東京五輪
新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期された東京五輪の聖火リレーが25日、福島県のサッカー施設「Jヴィレッジ」(楡葉町、広野町)から始まった。東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から10年、大会理念の「復興五輪」を聖火のトーチを掲げスタートする。2011年サッカー女子W杯で優勝した日本代表などで、Jヴィレッジのメンバー25日前9時41分、福島県のサッカー施設「Jヴィレッジ」

聖火福島から全国へ

コロナ禍、1万人リレー

象徴する場所だが、県内では避難生活が続き復興は道半ば。感染再拡大も懸念される中、7月23日の開会式で国立競技場の聖火台に点火されるまで、121日間をかけて日本列島を巡り、約1万人のランナーが聖火をつなぐ。

(3、28面に関連記事)

首都圏の緊急事態宣言は解除されたが、新規感染者数は各地で増加傾向にあり、感染防止に配慮した安全な運営が最大の焦点になる。

第1走者は、震災が起きた2011年のサッカー女子ワールドカップ(W杯)で優勝した日本代表「なでしこジャパン」の当時のメンバーがグループを務めた。出発式はコロナ対策で一般客を入れず、出席者を絞って簡素化。大会組織委員会の橋本聖子会長は「日本と世界の希望が詰まった大きな光となり、国立競技場に到着することを祈念する」と述べた。福島県の内堀雅雄知事は「私たちの復興の歩みは、どんな困難も乗り越えられるという力強いメッセージとなって、聖火を希望の道しるべとして輝かせる」とあいさつした。菅義偉首相は出席を見送った。第1原発が立地し、大部

分が帰還困難区域となっている双葉町では、昨年避難指示が解除されたJR常磐線双葉駅前をランナーがたどった。南相馬市では津波で両親と2人の子どもを亡くした上野敬幸さん(49)が走った。

富岡町で炎が消えたが、ランタンを使って再点火されリレーを続けた。組織委員会の武藤敏郎事務総長は記者会見で「大きな問題なま予定通りに実施できた」と述べた。

県内には原発事故で今も7市町村に帰還困難区域が残り、約3万6千人が避難生活を継続。復興五輪に複雑な思いを抱く被災者もいる。

著名人ランナーの辞退が相次ぎ、一部自治体からは中止や縮小を求める声がある。組織委員は、沿道の観客に密集回避やマスク着用、拍手での応援を呼び掛ける。過度な密集が発生した場合には当該場所の走行取りやめも検討する。

名前【 】

①東京五輪の聖火リレーが3月25日、どこから始まりましたか。

②第1走者を、グループで務めたのは誰ですか。

③今回のオリンピックの大会理念は何ですか。

④組織委は、感染防止のためにどんな呼びかけをしましたか。

⑤兵庫県の聖火リレーのコースを調べてみよう。